

令和2年度 こども発達支援センターびーち 放課後等デイサービス 事業所内評価結果

実施期間 令和2年11月～令和2年12月

チェック項目		はい	どちら	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 / 体制整備	① 支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか	50%	50%	0%	施設基準は十分満たしているが、お子さんたちの平均年齢も高くなってきた為、室内での活動内容によっては多少手狭に感じることもある。分室の利用や発達課題に合わせて、部屋割りを行うことで、有意義にスペースを使えるように対応していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	50%	50%	0%	配置基準は十分満たしているが、個別支援が必要なお子さんも多いため、入れる時間帯は意識して多職種で支援に入れるようにしていく。また、集団療育と並行して、言語や作業療法の個別支援も行っているため、時間帯によってはのバラツキにも気をつけていく。
	③ 施設設備等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか	60%	40%	0%	分室の玄関、トイレ等はバリアフリーではないが、将来の生活訓練機能の向上をはかるための療育室としての役割も担っているため、安全面等に留意しながら、こちら側が生活訓練の一環として意図して分室利用をとり入れていく。
業務改善	④ 業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参画しているか	100%	0%	0%	できる限り関わった職員全員と情報共有する時間を大切にしている。今後も会議の時間や職員の勤務調整を行い、なるべく全員が共通理解し、支援を行っているようにする。
	⑤ アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	送迎時や連絡ノートを活用し、できる限り一人一人の保護者と話せる時間を大切にしている。保護者によっては、個別に電話にてお話を伺うなど、今後も意識して丁寧な関わりを心がけていく。
	⑥ この自己評価の結果を、施設の会報やホームページ等で公開していく予定であるか	90%	10%	0%	3月に法人のホームページ上で公開予定。びーちだよりでも、必要な情報は随時報告するよにしていく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10%	10%	80%	外部の第三者評価は受けていないが、多方面からの視察や見学などを常時受け入れているため、風通しの良い開かれた施設にはなっている。今後も地域に開かれた施設として、多くの人の声や意見を取り入れられるようにしていく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	90%	10%	0%	職員会議の中で、研修に参加した職員が伝達研修を毎月行っている。また、支援の仕方・考え方についても、職員会議やミーティングの中で共通理解を図り、意識と質の向上を図っている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画に利用しているか	100%	0%	0%	利用開始の際には、ご家族のニーズをよく確認し、支援計画に取り入れるようにしている。モニタリングの時期以外であっても、ニーズの変更を感じた際には、お家の方や関係機関とも確認、連携をとりながら、計画の見直しを行っている。
	⑩ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	0%	他職種で案を出し合うことで、多面的視点でプログラムを立案することができている。なるべく全員が参加できるように、振り返りも含めて、ミーティングの時間帯を設定していく。
	⑪ 活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか	100%	0%	0%	ほぼ毎日利用しているお子さんもいるため、プログラム内容で飽きてしまうことがないようにレクや行事のとり入れ方も含めて工夫している。今後も運動、制作等をバランス良く企画し、活動を通して色々な経験ができるように、プログラムを組んでいくことにする。
	⑫ 平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか	100%	0%	0%	利用時間に加え、その日のメンバーや人数に合った活動内容での課題を提供できるように心がけている。特に長期休暇については、終日のプログラムを充実できるように意識している。
	⑬ 支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか	90%	10%	0%	朝のミーティングで、その日の利用児・対応の仕方・前日の様子・家庭の様子なども含めて、職員全体で把握できるように心がけている。朝のミーティングに参加できない職員もミーティングノートをみれば、分かるようにしている。
	⑭ 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなっているか	80%	20%	0%	お子さんの様子や学校での様子、配慮事項等について、その都度声をかけ合いながら確認を取っている。職員の勤務体制もあり、夕方全員でミーティングをするのは難しいため、朝のミーティング時に十分な時間をとって、共通理解を図っている。
	⑮ 日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか	100%	0%	0%	毎日記録を残すことができている。子どもへの対応だけでなく、保護者への対応でも必要なことは、対応した職員が書くようにしている。
	⑯ 地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか	30%	70%	0%	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響など社会情勢もあって、交流の機会を意図的に減らす形をとった。今後は感染症の状況を考慮しながら、安心・安全に交流できる機会の形を検討していきたい。
	⑰ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに役立っているか	100%	0%	0%	定期的なモニタリングを行うことができている。今後も6か月の期間に限らず、必要に応じて個別に対応できるようにしていく。
⑱ ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか	70%	30%	0%	ガイドラインを全職員が把握できるように促しているが、日を経つと忘れてしまうことも多いので、職員会議の中でその都度振り返りながら対応していく。	

関係機関や保護者との連携	⑲ サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか	50%	50%	0%	今年度はコロナ感染対策の影響もあり、大人数での会議が難しかった。今後は社会情勢にもあわせ、リモートなども含めた各機関との連携を意識していく。
	⑳ 学校との情報共有や連絡調整などは、随時行えているか	90%	10%	0%	今年度は教育委員の就学支援委員会にも参加しており、学校との情報共有は比較的図れている。日々の送迎時を中心に、電話連絡なども行うことで、今後も意識して連携を図っていく。
	㉑ 就学前に利用していた施設と情報を共有し、相互理解を深められているか	50%	30%	20%	今年度は教育委員の就学支援委員会に参加でき、発達課題や家庭状況等、細かく情報共有を行うことができた。今後もご家庭の方に確認を取りながら、意識して外部との連携を図っていく。
	㉒ 障害福祉サービス事業所などへ移行していくときには、支援内容や情報共有を心掛けているか	60%	40%	0%	年齢に合わせ、情報共有や発達課題の確認を家の方で行っている。今後もライフヒストリーを見据えた支援ができるように心がけていく。
	㉓ 専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか	70%	30%	0%	大学、他機関などもふくめ、研修を受ける機会を設けている。今年度はオンライン研修もあり、違った形での取り組みとなった。
	㉔ 地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか	90%	10%	0%	毎回協議会に参加している。今後も継続して参加し、地域の中での発信やアウトリーチが行えるように意識していく。
	㉕ 日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあっているか	100%	0%	0%	モニタリングの際や送迎時に、ご家族の方と話す時間を大切にしている。なかなか時間が取れない方については、お電話で話をしたり、連絡帳でのやりとりも主にしたりと、個別での対応を大切にしている。
	㉖ 保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか	70%	30%	0%	今年度はペアプロを開催した。来年度も継続して勉強会を開催し、お家の方も安心して子育てにあたれるように環境を整えていく。
保護者への説明責任等	㉗ 運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	90%	10%	0%	基本的には、契約時及び更新時にその都度説明している。契約者には伝わっていると思うが、家族間での共有は十分ではないかもしれないので、契約者以外の家族にも折に触れて周知できるようにしていく。
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	ミーティング等でその都度話し合い、適切かつ丁寧な返答ができるように心がけている。また、必要な方に対しては、お子さんの利用状況に限らず、適宜話をする時間を設けている。
	㉙ 保護者同士の連携を意図的に用意できているか	40%	50%	10%	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、交流の機会や密になる機会をなるべく減らすような対応をとった。お仕事をされている方も多いので、時間帯なども工夫し、取り入れていけると良いと思う。
	㉚ 子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか	100%	0%	0%	今年度苦情はなかった。日頃からお家の方の声に耳を傾け、苦情に繋がらないように意識して丁寧に対応している。
	㉛ 施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか	90%	10%	0%	びーちだよりやお便り、連絡帳を利用して、できるだけ早めに伝えられるように心がけている。今後も漏れのないように、意識して伝えていく。
	㉜ 個人情報に十分配慮できているか	100%	0%	0%	基本的には契約時や年度切り替え時にプライバシー承諾書にて保護者に確認を取っている。職員に対しては、個人情報保護法と併せて周知を図っている。今後も丁寧に取り扱っていく。
非常時等の対応	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	0%	基本的には契約時に全員に周知している。家族間での周知に差があるため、引き続き周知を図っていく。
	㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行えているか	80%	20%	0%	定期的に避難訓練を行えているが、保護者の方への周知は不十分であるため、今後びーちだより等で周知できるようにしていく。
	㉟ 虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか	100%	0%	0%	研修に参加している。伝達研修を取り入れ、パート職員も含めた全職員への周知を図っている。今後も伝達研修を行ない、意識して対応していく。
	㊱ 食物アレルギーのある子どもについて、保護者に確認して適切な対応をしているか	70%	30%	0%	基本的には契約時に必ず確認をしている。びーちにて、アレルギー個別対応が必要なお子さんについては、医師からのアレルギー対応指示書を年度ごとに提出してもらっている。今後も、適切な対応を職員間で確認し、徹底した管理を行っていく。
㊲ ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハットとなった事象については、報告書でまとめ、ミーティングでのその都度報告し、全職員が把握できるようにしている。今後も、ヒヤリハットに繋がらないように、日頃から意識を高めた関わりを心掛けていく。	

上記のように、施設内でも事業所評価を行いました。今後に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。